



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年4月23日

上場会社名 株式会社エイトレッド

上場取引所 東

コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 佐藤 淳

TEL 03 - 3486 - 6312

定時株主総会開催予定日 2020年6月19日

配当支払開始予定日

2020年6月2日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月19日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,623	12.1	588	14.4	588	20.2	412	32.2
2019年3月期	1,448	30.8	514	58.4	489	50.9	312	39.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	55.26	55.10	16.4	17.7	36.2
2019年3月期	45.54	45.17	16.4	18.9	35.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	3,498	2,678	76.6	358.43
2019年3月期	3,159	2,362	74.8	317.40

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,678百万円 2019年3月期 2,362百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	609	188	112	2,803
2019年3月期	643	130	595	2,494

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		5.50		5.50	11.00	78	24.2	4.2
2020年3月期		8.00		8.00	16.00	119	29.0	4.7
2021年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00		34.3	

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	841	7.3	298	11.5	298	10.9	200	4.4	26.77
通期	1,790	10.3	650	10.5	650	10.5	436	5.7	58.35

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	7,471,800 株	2019年3月期	7,443,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	68 株	2019年3月期	39 株
期中平均株式数	2020年3月期	7,463,305 株	2019年3月期	6,853,351 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4の「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 9
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(持分法損益等)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(1株当たり情報)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦、中東情勢不安に起因する地政学リスクの高まりや、新型コロナウイルス感染の世界的な広がり等により、国内外において経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が一層高まっております。

当社が属するIT業界は、政府による働き方改革の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への働き方の変化により、当社が展開するワークフロークラウドサービスの利用拡大が顕著となっていることや、ワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、全国主要都市でのパートナー企業との共同セミナーやWebを活用したセミナーの開催及び市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は16億23百万円（前期比12.1%増）、営業利益は5億88百万円（同14.4%増）、経常利益は5億88百万円（同20.2%増）、当期純利益は4億12百万円（同32.2%増）となりました。なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、導入社数が堅調に推移したこと等により売上高が伸長し、A g i l e W o r k sは、全国主要都市でのセミナーの実施等により、導入企業数は増加し売上高が伸長いたしました。その結果、当事業年度のX-p o i n t売上高は4億44百万円（前期比4.1%増）、A g i l e W o r k s売上高は7億19百万円（前期比5.8%増）となり、パッケージソフト全体の売上高は、11億64百万円（前期比5.1%増）となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長を背景として、Webを活用したセミナーの開催やハンズオンセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当事業年度のクラウドサービス売上高は、4億58百万円（前期比34.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ3億3百万円増加し、30億36百万円となりました。これは、主に現金及び預金が3億9百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ35百万円増加し、4億61百万円となりました。これは、主にソフトウェアが35百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて3億39百万円増加し、34億98百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ26百万円増加し、6億62百万円となりました。これは、主に未払金が23百万円、未払法人税等が22百万円減少したものの、前受収益が76百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、1億57百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が6百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて23百万円増加し、8億20百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ3億15百万円増加し、26億78百万円となりました。これは、主に当期純利益の計上等により利益剰余金が3億11百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して3億9百万円増加し、28億3百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億9百万円（前期は6億43百万円の獲得）となりました。これは、主に税引前当期純利益が6億7百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億88百万円（前期は1億30百万円の使用）となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入が5億16百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が4億96百万円、無形固定資産の取得による支出が2億7百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億12百万円（前期は5億95百万円の獲得）となりました。これは、主に配当金の支払が1億円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	74.8	76.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	283.4	264.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

(注1) 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 有利子負債がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、政府による働き方改革の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への移行の加速により、ワークフロー事業の需要が拡大することを想定し、既存販売パートナーの深耕及び新規販売パートナーの開拓により、大手・中堅企業向けワークフローパッケージ「AgileWorks」の売上増を見込んだことや、中小・中規模企業向けワークフローパッケージ「X-point」は、クラウドサービスに注力するため、売上減を見込んでおり、前期に引き続きクラウドサービス「X-point Cloud」の売上増を想定しております。

また、費用面につきましては、売上拡大やサポート体制強化に伴う人員の増加や、製品機能強化のためのソフトウェア償却費の増加、知名度向上のための広告宣伝費等の増加はあるものの、売上高の拡大に伴う利益増が吸収し、利益は増益を想定しております。

次期の業績予想につきましては、売上高は17億90百万円（前期比10.3%増）、営業利益は6億50百万円（同10.5%増）、経常利益は6億50百万円（同10.5%増）、当期純利益は4億36百万円（同5.7%増）を計画しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,494,650	2,803,832
売掛金	175,307	172,880
電子記録債権	45,006	37,923
前払費用	15,680	20,847
その他	2,304	1,446
流動資産合計	2,732,949	3,036,930
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	139,372	139,372
減価償却累計額	△49,104	△62,168
建物附属設備(純額)	90,267	77,203
工具、器具及び備品	18,172	18,409
減価償却累計額	△11,267	△13,383
工具、器具及び備品(純額)	6,904	5,025
有形固定資産合計	97,171	82,229
無形固定資産		
ソフトウェア	228,114	263,517
無形固定資産合計	228,114	263,517
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,802	81,398
その他	34,248	34,249
投資その他の資産合計	101,050	115,647
固定資産合計	426,336	461,394
資産合計	3,159,285	3,498,324

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,072	25,674
未払金	99,749	76,537
未払費用	41,287	37,003
未払法人税等	146,449	124,366
預り金	11,955	2,615
前受収益	277,920	354,613
賞与引当金	48,454	42,089
流動負債合計	636,889	662,900
固定負債		
退職給付引当金	71,610	77,880
役員退職慰労引当金	21,526	12,359
資産除去債務	66,864	67,080
固定負債合計	160,000	157,319
負債合計	796,889	820,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	618,808	620,824
資本剰余金		
資本準備金	618,808	620,824
資本剰余金合計	618,808	620,824
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,124,832	1,436,564
利益剰余金合計	1,124,832	1,436,564
自己株式	△52	△107
株主資本合計	2,362,395	2,678,104
純資産合計	2,362,395	2,678,104
負債純資産合計	3,159,285	3,498,324

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,448,491	1,623,295
売上原価	318,813	378,241
売上総利益	1,129,678	1,245,053
販売費及び一般管理費	615,194	656,723
営業利益	514,483	588,329
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	1,334
その他	675	95
営業外収益合計	689	1,429
営業外費用		
上場関連費用	25,657	—
雑損失	—	1,468
その他	—	3
営業外費用合計	25,657	1,471
経常利益	489,516	588,288
特別利益		
投資有価証券売却益	—	19,428
特別利益合計	—	19,428
特別損失		
固定資産除却損	2,457	—
特別損失合計	2,457	—
税引前当期純利益	487,059	607,716
法人税、住民税及び事業税	190,504	209,869
法人税等調整額	△15,523	△14,595
法人税等合計	174,981	195,273
当期純利益	312,077	412,442

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	170,293	38.0	170,216	29.1
II 外注加工費		57,174	12.8	125,046	21.3
III 経費		220,240	49.2	290,573	49.6
当期総製造費用		447,708	100.0	585,836	100.0
他勘定振替高	※2	128,894		207,595	
売上原価		318,813		378,241	

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費(千円)	144,526	172,722
通信費(千円)	54,869	76,165
地代家賃(千円)	13,260	11,340

※2 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
ソフトウェア(千円)	128,894	207,595

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	279,544	279,544	279,544	885,542	885,542	-	1,444,630	1,444,630
当期変動額								
新株の発行	336,198	336,198	336,198				672,396	672,396
新株の発行(新株予約権 の行使)	3,066	3,066	3,066				6,132	6,132
剰余金の配当				△72,788	△72,788		△72,788	△72,788
当期純利益				312,077	312,077		312,077	312,077
自己株式の取得						△52	△52	△52
当期変動額合計	339,264	339,264	339,264	239,289	239,289	△52	917,764	917,764
当期末残高	618,808	618,808	618,808	1,124,832	1,124,832	△52	2,362,395	2,362,395

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	618,808	618,808	618,808	1,124,832	1,124,832	△52	2,362,395	2,362,395
当期変動額								
新株の発行(新株予約権 の行使)	2,016	2,016	2,016				4,032	4,032
剰余金の配当				△100,710	△100,710		△100,710	△100,710
当期純利益				412,442	412,442		412,442	412,442
自己株式の取得						△55	△55	△55
当期変動額合計	2,016	2,016	2,016	311,732	311,732	△55	315,709	315,709
当期末残高	620,824	620,824	620,824	1,436,564	1,436,564	△107	2,678,104	2,678,104

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	487,059	607,716
減価償却費	159,388	187,371
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,025	△6,365
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,496	6,270
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,000	△9,167
受取利息及び受取配当金	△14	△1,334
上場関連費用	25,657	—
固定資産除却損	2,288	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△19,428
売上債権の増減額(△は増加)	△46,661	9,510
仕入債務の増減額(△は減少)	6,326	14,601
前受収益の増減額(△は減少)	62,559	76,693
未払金の増減額(△は減少)	20,798	△7,026
その他	21,102	△21,114
小計	764,025	837,727
利息の受取額	14	1,332
法人税等の支払額	△121,031	△229,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	643,008	609,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,537	△237
無形固定資産の取得による支出	△128,894	△207,595
投資有価証券の取得による支出	—	△496,973
投資有価証券の売却による収入	—	516,402
その他	—	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,432	△188,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	672,396	—
自己株式の取得による支出	△52	△55
ストックオプションの行使による収入	6,132	4,032
上場関連費用の支出	△10,073	△15,583
配当金の支払額	△72,598	△100,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	595,803	△112,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,108,379	309,182
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,270	2,494,650
現金及び現金同等物の期末残高	2,494,650	2,803,832

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	317円40銭	358円43銭
1株当たり当期純利益金額	45円54銭	55円26銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	45円17銭	55円10銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	312,077	412,442
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	312,077	412,442
普通株式の期中平均株式数(株)	6,853,351	7,463,305
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	54,942	21,921
(うち新株予約権数(株))	(54,942)	(21,921)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。